



○ 草の根協力支援型

平成25年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ガボン
2. 事業名	ムカラバ地域におけるエコツーリズム開発のための現地ガイド養成
3. 事業の背景と必要性	事業対象地域は生物多様性が高く、日本人研究グループによってその研究と保全が進められてきた。現在、対象地域では政府によるエコツーリズム（ET）の導入が企画されている。しかし、地域住民がETの利益を享受する仕組みが未整備である。ETへの地域住民による主体的な参加を促し、対象地域の人と自然が調和した持続的発展を達成するには、本事業提案者が開発、推進してきたツーリズムのガイド技法であるインタープリテーションが有効と考え、提案にいたった。
4. プロジェクト目標	対象地域の住民がインタープリテーションに基づく観光開発の理念を理解し、主体的に観光開発に関わる意思と技能を身につける。
5. 対象地域	ニヤンガ州ムカラバ・ドウドウ国立公園およびその周辺地域
6. 受益者層（ターゲットグループ）	ムカラバ・ドウドウ国立公園周辺住民
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インタープリテーション指導者の育成 2. ガイド技能の習得とエコツーリズム振興のための住民グループ作り 3. 地域の自然・文化の観光資源化 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インタープリテーション指導者の現地研修、テキスト作成 2. 地域ワークショップの開催、環境教育、エコツーリズム振興グループの立ち上げ 3. 観光資源（自然、文化）調査、観光プログラムの提案、ガイドブックの作成
8. 実施期間	2015年1月～2017年3月（2年3カ月）
9. 事業費概算額	17,976千円
10. 事業の実施体制	一般社団法人エコロジックが事業運営を行い、インタープリテーション専門家（プロジェクトマネージャー）、文化人類学、保全生態、ゴリラ調査の専門家を現地に派遣する。現地での活動にあたっては、カウンターパートである現地NGOのPROGRAMと協働し、ガボン科学技術研究センターとも連携する。ガボン側監督官庁は国立公園局。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人エコロジック
2. 活動内容	海外、国内において、自然環境と地域文化の調和をはかるための開発手法であるエコツーリズムの研究開発、コンサルティング